

2026年度 新刊図書紹介（センター所蔵）

2026. 7.1 現在



『記憶と脳の探究』 櫻井芳雄 [著]. -- 岩波書店, 2026 (岩波ジュニア新書 ; 1008).

記憶とは一体何なのか、どこにどうやって保管されているのか、どうすれば記憶力があがるのか……。

誰もが一度は考えたことのある「記憶」の不思議を、心理学・脳科学の手法で解き明かせば、AIには真似できない「脳」の複雑なしくみが見えてくる。新書『まちがえる脳』の著者が平易な文章でつづる入門書。（出版社内容情報）



『ひろしくんの本』 深見憲著 ; 1 - 7. -- 中川書店, 1999~2017

自閉症児深見博君は家族の愛と忍耐とすさまじいまでの根気と周囲の方々の援助により楽しく社会生活を送れるように成長した。母親の長年の思いでと記録です。

（提供元：サピエ図書館資料検索）



『八幡神からみる日本古代の政治と社会：新たな八幡信仰史の視座』 飯沼賢司著 -- 思文閣出版, 2026

現代においては全国に四万社以上あるといわれる八幡宮。その祭神である八幡神は、八世紀初め、日本の神祇体系に属さない神として古代律令国家の西の周縁部「宇佐」に忽然と出現し、数十年の間に仏教守護神として国家神に躍り出る。本書は、文献史料に加えて八幡宮の祭礼や伝承から当時の政治や社会状況を読み解くなかで、この謎を紐解く。八幡神はその後も時の政治状況と密接に関係し、神の姿を変身させる、時代を写す鏡のような存在であった。その政治性こそが八幡神の本質であると論じる本書は、既存の八幡神研究とは異色のものである。（本書より）



『生成AIで世界はこう変わる』 今井翔太著. SBクリエイティブ, 2024 (SB新書 ; 642)

話題の生成AI、どこまでなにができる？

AIって結局、どんなしくみで動いているの？

最新テクノロジーで私たちの仕事は奪われる？

AIで働き方や生活がどう変わるのか知りたい…

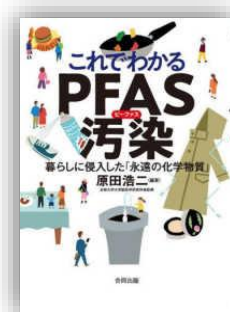
激動の時代を生きるすべての人にとって、これから到来する未来を生き抜くヒントと正しい技術的知識を提供します。（出版社内容情報）

※その他にも多くの所蔵図書がありますので、OPACで検索して是非ご利用ください！

貸出冊数・・・大学院学生（博士）30冊 大学院学生（修士）20冊 卒研履修生 20冊 学部学生 10冊

貸出期間・・・1ヶ月（予約がなければ2週間の延長可能）

申込はOPACまたはセンター窓口で！



『これでわかるPFAS汚染：暮らしに侵入した「永遠の化学物質」』 原田浩二編著. -- 合同出版, 2023.

20年以上にわたり有機フッ素化合物（PFAS）の毒性を研究し、市民とともに暮らしのなかの汚染調査をしてきた研究者がやさしく解説。沖縄、東京、愛知、大阪で汚染被害を訴え、解明にむけて国内外に発信する市民運動4団体の報告も収録。

◎PFASって何？ 健康への影響は？

◎国際社会はどのように動いているの？

◎日本における汚染の実態は？

◎日本の社会が取り組むべきことは？

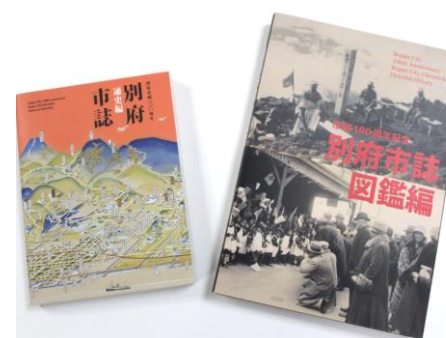
◎今、私たちに何ができるの？

（本書より）

『コミュニケーションの方言学』 小林隆編 ; 熊谷智子 [ほか執筆]. -- ひつじ書房, 2018.

目次より抜粋

- 1 研究のための視点（コミュニケーションの地域差の研究に向けて
―試論；言語行動の変異を捉える―多角的な観点からの検討 ほか）
- 2 方言コミュニケーションの姿（「断り」という言語行動にみられる
特徴―全国通信調査データから；大分県方言の依頼談話 ほか）
- 3 コミュニケーションに見る方言（長野県方言敬語の発想と表現
―敬意終助詞が担う親しみと敬い；接続詞の語形変化と音変化―
方言談話資料からみた接続詞のバリエーション ほか）
- 4 歴史の中のコミュニケーション（関西における掛け合い型談話の由来
と展開―漫才と日常会話の相互作用；近世・近代における授受補助動
詞表現の運用と東西差―申し出表現を中心に）
- 5 将来のための資料論
（ロールプレイ会話による参加型方言データベース構築の試み）



『別府市誌（通史編・図鑑編）』 別府市 2025

2024年（令和6年）4月1日、別府市は市制施行100周年という大きな節目を迎えました。この記念すべき年に、先人たちが築いてきた歴史や文化、産業などの歩みを振り返り、次の100年に向けた新たな出発点とするため、市誌を刊行しました。今回の市誌は、「通史編」と「図鑑編」の2部構成となっています。「通史編」では、別府の成り立ちから現在までをテーマごとにまとめ、「図鑑編」では、別府の自然や文化、温泉、産業、暮らしなどをテーマごとにビジュアル豊かに紹介しています。新しい市誌が、別府の魅力や歩みを再発見するきっかけとなり、未来に向けたまちづくり・ひとづくりに役立てていただければ幸いです。（別府市HPより）

<その他の新刊図書>

『Introduction to linear algebra(6th edition)』 Gilbert Strang著 Wellesley-Cambridge 2023

『王子と乞食』 マーク・トウェーン作/村岡花子訳 岩波書店 (岩波文庫) 1958

『生成AI時代を勝ち抜く事業・組織のつくり方：経営戦略をアップデートするためのフレームワークと未来予測』 梶谷健人著 日経BP 2024

『選択の科学：コロンビア大学ビジネススクール特別講義』 シーナ・アイエンガー著/櫻井祐子訳 文藝春秋 2010

『感染症と差別』 徳田靖之著 かもがわ出版 2022

『宮本武蔵 熊本で生きる』 福田正秀著 熊本城頭彰会 2025

『全国調査による言語行動の方言学』『全国調査による感動詞の方言学』 小林隆編 ひつじ書房 2021. 2022